

土木学会 コンクリート委員会  
平成 25 年度 第 1 回規準関連小委員会 議事録(案)

1. 日 時：平成 25 年 4 月 25 日（木）13:00～17:00
2. 場 所：土木学会A会議室
3. 出席者（敬称略）：  
鎌田委員長、上野幹事長、入内島、内田、小川、片平、加藤、川西、国枝、蔵重、坂本、田中、椿、野島、野村、日比野、平塚、堀越、松原、皆川、森、横尾、横関  
以上 23 名
4. 配付資料
  - 25-1-0 平成 25 年度第 1 回規準関連小委員会 議事次第（案）
  - 25-1-1 平成 24 年度第 4 回規準関連小委員会 議事録（案）
  - 25-1-2 委員構成（2013 年 4 月 1 日現在）
  - 25-1-3 2013 年制定規準編工程（案）
  - 25-1-4 2013 年制定規準編工程（案）およびクロスチェック担当表（修正案）
  - 25-1-5 鋼材・補強材 WG 関連メモ（鋼材・補強材 WG）
  - 25-1-6 2013 年制定 コンクリート標準示方書 規準編 土木学会規準（鋼材・補強材 WG）
  - 25-1-7 2013 年制定 コンクリート標準示方書 規準編 土木学会規準（フレッシュコンクリート WG）
  - 25-1-8 3.水中不分離性コンクリートの圧縮強度試験用水中作製供試体の作り方（案）（JSCE-F 504-2013）
  - 25-1-9 27.鋼繊維補強コンクリートの強度およびタフネス試験用供試体の作り方（案）（JSCE-F 552-2013）
  - 25-1-10 硬化コンクリート WG の進捗状況
  - 25-1-11 2.硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法（案）（JSCE-G 504-2013）
  - 25-1-12 実構造物におけるコンクリート中の全塩化物イオン分布の測定方法（案）（JSCE-G 573-2013）
  - 25-1-13 JSCE-H101 2013 年度版 新旧対比表
  - 25-1-14 1.プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤（橋げた用）品質規格（案）（JSCE-H 101-2013）
  - 25-1-15 JSCE-I 501 2013 年版 新旧対比表
  - 25-1-16 1.連続ミキサの計量・供給性能試験方法（案）（JSCE-I 501-2013）
  - 25-1-17 JSCE-I 502 2013 年版 新旧対比表
  - 25-1-18 2.連続ミキサの練混ぜ性能試験方法（案）（JSCE-I 502-2013）
5. 議事
  - (1) 鎌田委員長挨拶
    - ・ 2010 年版は、2012 年 12 月末時点で 5000 部印刷中 4062 部販売の 94 万円の赤字であったが、昨日時点で 4270 部販売の 83 万円の黒字である。
    - ・ 2013 年版は、目次案、スリム化案およびフォーマット管理について、2 月 15 日の常任委員会で承認されている。今後は、今年の 12 月頃実施する講習会の内容検討である。
    - ・ 基本原則編、設計編、施工編は、すでに 3 月に発行され、維持管理編とダムコンクリート編は 10 月に発刊予定、規準編は 12 月頃の予定である。
  - (2) 前回議事録の確認  
前回議事録の確認が行われ、特に修正なく了承された。
  - (3) 委員交代および所属変更
    - ・ 中村委員の所属変更について、橋梁調査会に委員会への参加可能か打診中である。
    - ・ 今回から交代した松原委員（住友電工スチールワイヤー）の紹介がなされた。
    - ・ 作業部会構成で、一般の委員のお名前を、50 音順に修正する。

(4) 2013年制定規準編発刊までの工程について

- ・ 各WGのトレースを要する図の抽出は、随時、上野幹事長宛てに連絡すること。
- ・ 各WGの完成原稿は5月15日までとし、クロスチェック終了は6月30日とする。
- ・ クロスチェック担当については、補修材料WGの中で重複している委員は補修材料WG以外のWGでクロスチェックを行う。また、製品WGの規準のクロスチェック担当は、補修WGとする。
- ・ 主査幹事会での最終原稿確認完了は9月中旬とする。(報告会の日程決定により、9月末から9月中旬に変更)

(5) 報告会WGの設置について

- ・ 報告会WGのメンバーには、森委員、川西委員、田中委員、蔵重委員、野村委員が選任された。
- ・ 報告会の特別講演は、京大の河野先生に依頼する予定である。
- ・ 報告会は、平成25年11月13日(水)午後から土木学会講堂とする。

(6) JSCE規準WG案の審議

① 鋼材、補強材WG

- ・ ダイヤルゲージから変位計への修正については、精度の明記があれば変更可能とする。
- ・ 書式の統一については、皆川委員からの修正メール内容に合わせて、各WGの内容を修正すること。

② フレッシュコンクリートWG

- ・ JSCE-F 504の水温に関する記述については、“注”を本文に格上げしているため、『水温は、 $20 \pm 3^\circ\text{C}$ を標準とする。ただし、』のように、『標準とする。ただし、』を追加する。
- ・ JSCE-F 552の5.3.2の3行目を『締め固めることを原則とする。なお、棒状振動機を型枠の1ヵ所だけに当てて締め固めたり、コンクリート中に挿入して内部振動締め固めを行ってはならない。』に変更する。
- ・ 上記F552に、5.5節として、形状寸法の許容差を記載する。現状の5.4a)の内容を変更せずに、 $90 \pm 0.5^\circ$ を追記するような形とする。記述については、フレッシュコンクリートWGにて検討する。
- ・ 上記F 552の9.報告a)試験の目的については、報告事項に入れるかどうか再検討してメール審議すること。
- ・ 上記F 552の6.3f)および図2『余分の試料』を『余分な試料』に修正する。

③ 硬化コンクリートWG

- ・ JSCE-G 504の5.3『圧縮強度から反発度の換算式』を『圧縮強度と反発度の関係から得られた換算式』に修正する。
- ・ 上記G 504の3. b)『精度を上げる』を『精度を維持する』に修正する。
- ・ 上記G 504の2. d)の(1)位置を『換算した値(1)』の箇所に変更する。
- ・ JSCE-G 573の付属書のタイトルについては、改行してセンタリングする。
- ・ 上記G 573の英文タイトルについては、再検討すること。
- ・ 上記G573の4.1.4b)1)の注(9)の内容は、本文中に移動する。

④ 製品、施工機械WG

- ・ JSCE-H 101の5.1a)標準状態について、標準温度状態2級、標準湿度状態1級のままとする。
- ・ 上記H 101の5.1試験室の状態については、JSCE-K 541に合わせる。

6. 次回の予定

- ・ 2013年7月29日(月) 14:00-17:00 場所:土木学会

文責 横尾